

# 耕野小農園新聞

平成30年11月14日 第38号

## 2・3年生の大豆脱穀

先日収穫して稲架していた大豆が乾燥したので、次の作業である「脱穀(だっこく)」を行いました。昔ながらの方法で、機械を使わず手作業で脱穀しました。



乾燥が終わった大豆を竹の棒で叩きます。するとさやから豆が出てきます。



さやごと取れた豆はさやから出して、「てみ」を使いゴミと豆を選別します。



「てみ」でゴミを飛ばした後は、ザルを使って土や小石を振り落とします。大豆は一粒ずつ割れや虫食いのものを手作業で取り除きます。選別の様子などは次号でお知らせします。